

北海道岩内高等学校

令和8年度(2026年度)学校教育目標等

学校教育目標

- 1 豊かな人間性を育む
- 2 自ら学ぶ意欲を育む
- 3 健康な心身を育む

スクールミッション（本校の社会的役割）

- 1 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- 2 地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成

スクールポリシー（教育活動の指針）

1. グラデュエーション・ポリシー（このような生徒を育てます。）

○豊かな心を持ち、協働し社会に貢献できる生徒。

【生徒の実態】

- 心優しく、素直な生徒が多い。
- 学校行事や部活動に対し意欲的に取り組む生徒が多い。
- 地元で活躍する同窓生が多く、地域とのつながりが強い。

【めざす生徒像】

- 自らを律し、他者を思いやる豊かな人間性を備えた生徒。
- 確かな学力を身に付け、自ら課題を設定し主体的に学び続ける生徒。
- 生涯にわたり健康に生活するための知識と実践力を備えた生徒。

2. カリキュラム・ポリシー（このような教育活動を行います。）

○単位制の特色を活かし、多様な進路に対応できる教育課程を編成・実施する。

【育成する資質・能力(知)】

- よりよい地域・社会を実現に向けて協働的に取り組む力
- 自己実現に向けて主体的に課題解決に取り組む力

【豊かな人間性(徳)】

- 「時を守る」「場を清める」「礼を正す」など規範を遵守する力
- 他者を思いやり、健全な人間関係を築く力

【健康・体育(体)】

- 健康に生活するための生活習慣と体力
- 心身の健康を維持し、さまざまな危険から身を守る力

何ができるようになるか(学校生活の基本)

- 学んだ知識・技能を社会のさまざまな場面で活用できる。
- 情報を収集・分析し、地域課題の解決に生かすことができる。
- 主体的・協働的に学びに向かうことができる。
- 自己の感情や行動を適切に統制できる。

何が身についたか(学習評価を通じた改善)

- 社会的課題に対し、学んだ知識・技能を生かして解決策を考えようとしている。
- 望ましい職業観を身に付け、自己実現に向けて努力している。
- OTPOIに応じた言葉遣いと態度で行動できる。

何を学ぶか(教育課程の編成)

- 社会生活や自己実現に役立つ知識・技能。
- 課題発見・解決に必要な思考力・判断力・表現力。
- 他者を尊重しながら自分の考えを伝え、場面に応じて行動する力。

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- 地域人材を活用した課題解決型学習の実施。
- 習熟度別学習やICTを活用した個別最適な学びの推進。
- 生徒の実態に応じた「わかる授業」「学び合う授業」の実施。
- 連帯感・達成感・帰属意識を高める特別活動の充実。

実施するために必要なこと

(指導体制の充実、環境整備、家庭・地域との連携、開かれた学校)

- 観点別評価の充実による「指導と評価の一体化」。
- 学校運営協議会を中心とした地域・企業との連携強化。
- ホームページや広報誌を活用した積極的な情報発信。

生徒をどのように支援するか (どのような配慮が必要か)

- 特別支援委員会を中心とした支援体制の整備。
- 外部専門機関との連携による支援の充実。
- 系統的なキャリア教育の推進。

3. アドミッション・ポリシー（このような生徒の入学を待っています。）

- 豊かな心を持ち、多様な人々と協働しながら高い目標をもって学ぶ生徒。
- 地域の課題を解決する意欲を持ち、自己実現のために必要な資質能力の向上に積極的な生徒。